

“先生の働き方改革推進”のご理解、ご協力をお願いについて(再掲)

第2回学校運営協議会でも話題としましたが、「先生の働き方改革」を進めるため、市教委から全家庭にリーフレット(栃木市教育委員会発行 R5.10月)が配付されています。ご覧いただけたとと思いますが、改めて「保護者や地域の皆さまにお願いしたいこと！」の一部を掲載いたします。

以下の資料は、「学校・教師が担う業務の明確化・適正化について」及び「部活動指導」についての抜粋です。改革を推進するため、何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。ご質問やご意見等ありましたら、どうぞ遠慮なく申し出ください。学校運営委員会やPTA役員会等で改善策等について、今後も協議していききたいと思います。併せて、保護者の皆さまには、登下校の対応や校庭の除草作業等、ご自分の予定に合わせて、可能な範囲で学校ボランティア等にご協力いただくと幸いです。

学校・教師が担う業務の明確化・適正化について

国では、以下のような業務整理を行い、「学校・教師が担う業務の明確化・適正化」を進めています。

| 基本的には学校以外が担うべき業務 | 学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務 | 教師の業務だが、負担軽減が可能な業務 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 登下校に関する対応 ● 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応 ● 学校徴収金の徴収・管理 ● 地域ボランティアとの連絡調整 | <ul style="list-style-type: none"> ● 調査・統計等への回答等 ● 児童生徒の休み時間における対応 ● 校内清掃 ● 部活動 | <ul style="list-style-type: none"> ● 給食時の対応 ● 授業準備 ● 学習評価や成績処理 ● 学校行事の準備・運営 ● 進路指導 ● 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 |

【新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)平成31年1月より】

各学校の「学校運営協議会」において、学校・教師が行うべきことについて協議し、積極的な業務整理を進めていただきますようお願いいたします。

部活動指導について

●本市では、生徒の健康を守るため、「栃木市立中学校部活動の在り方に関する方針」を策定し、活動の目安を以下のとおり示しています。ご理解とご協力をお願いします。

【活動時間の設定】平日は2時間程度、週休日及び祝日、長期休業日は3時間程度

【休業日の設定】1週間のうち、少なくとも平日1日、土曜日及び日曜日は1日以上(週休日に休業日が取れない場合は、代わりの日を設ける。)

【休業期間の設定】長期休業日は、休業期間を設定

※短時間で、合理的かつ効果的な活動を行うことで、心身ともにバランスの取れた成長につながります。

●「休日における部活動の段階的な地域移行」を進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

- ・これまで学校教育で行ってきた部活動を学校から切り離し、地域のスポーツ団体等が主体となる地域クラブ活動へと移行する改革です。つまり“顧問”ではなく“地域クラブの指導者”が指導にあたります。
- ・地域の実情に応じて、まずは、休日における運動部活動から実施可能な部活動について、段階的な地域移行を進めていきます。

「校内人権週間」における本校の取組について

12月2日(月)～6日(金)まで、校内人権週間として、全校で重点的に人権学習に取り組みました。ねらいは、次の2点です。

- (1) 12月10日の世界人権デーにちなんで校内人権週間を設定し、各種活動を通して、人権感覚、人権意識高揚の一助とし、本校の人権教育活動の活性化を図る。
- (2) 日常生活における身近な問題を通して「人権」とは何か、「人権を保障する」とはどういうことかを考えさせながら、互いの立場を理解し合い、ともに成長しようとする態度と実践力を育てる。

本校での具体的取組として、栃木県人権作文コンテストに本校代表として出品した、1年生の***さん、2年生の***さん、3年生の***さん、***さん、***さんの「人権作文」の朗読、また、人権教育に関する講話「あきらめない心」(講師：栃木レイカーズ 男子車椅子バスケットボール日本代表 ***氏)、そして、期間中「ふりかえり用紙」の記入を毎日行い、今の自分を見つめ直し、意識化を図りました。今後も、人権週間に限らず、日常的に人権教育を推進して参ります。

ユニホームの寄贈を受けました！。温かいご協力、ありがとうございます。


この度、地元都賀町家中で機械部品製造販売を営む、有限会社ハネダ様と本校女子バスケットボール部保護者会様から、女子バスケットボール部にユニホームの寄贈がありました。

ハネダ様には、大川秀子栃木市長から、女子バスケットボール部保護者会様には、青木千津子栃木市教育委員会教育長から、それぞれ感謝状を頂きましたので、去る11月20日(水)に、代表として、ハネダ様にはご親族の***様に、保護者会様には会長の***様に、本校校長室に於いて、市長、教育長に代わって授与いたしました。これまでのユニホームは大分古くなっていましたが、新調されたユニホームで、生徒たちがますます活躍することを心から期待しています。本当にありがとうございました。この場を借りて、深くお礼を申し上げます。



冬休みに入ります！

12月25日(水)で2学期を終え、12月26日(木)～1月7日(火)まで、冬休みに入ります。地域の皆様、保護者の皆様、今まで以上に都賀中生を見守り、ご指導くださいますようお願いいたします。

【まことク】その7  ~やる気を引き出す「思いやり」~ 私も肝に銘じたいと思います…。

早いもので、令和6年も年の瀬を迎えてしまいました。毎月学校に送られてくるある冊子に、「仕事が正当に評価されるとやる気が出ます。褒められたり期待されたりする場合も同様でしょう。ミスをして叱られたときも『あなたならできるはず』『期待しているよ』といったフォローがあると、やる気が引き出されるのです。上司の立場にある人が部下の長所を発見し、これを伸ばしていくこととする『思いやり』を実践すれば、部下は自信を持つようになります。そして『自分は人や社会の役に立っている』と実感できたとき、ますます前向きに生きようとする意欲が湧いてくるのではないのでしょうか。」といった内容の文章がありました。このことは親子関係でも同じことが言えるのではないかと思います。

とかく、人は相手の悪い点や短所に気が付き目が行きがちですが、人間に目が二つあるのは、たとえ相手に悪い点があっても、そこはちょっとだけ目をつぶり、片方の目でしっかりと相手の良いところを見るためだという話を聞いたことがあります。まだまだ成長過程にある校長の私ですが、これを肝に銘じ、人を育てることの職にあることの尊さややりがい感謝しながら、残された日々を精一杯過ごしていきたいと思っています。

コロナは落ち着いてものの、マイコプラズマやインフルエンザの心配がありますが、都賀中学校での有意義な日々を過ごすことができ、毎日がとても充実しています。引き続き、校長職はもちろん、バスケットボールの審判活動も頑張り続けます。今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしく願いいたします。それでは、皆様どうぞよいお年をお迎え下さい。

※「まことク」は、“誠の話”をさせていただきます。

